

山口県宇部市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

(1) 2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年	2022年	2023年	2030年（目標値）	達成度（%）
1	事業化・創業実現件数（累計） 【8.2,8.3,8.5,8.9】	2020年 3月 90 件	2021年 135 件	2022年 149 件		2030年 390 件	19.7%
2	多様な働き方確保支援センターにおける就職 マッチング件数（累計） 【8.2,8.3,8.5,8.9】	2020年 3月 87 件	2021年 158 件	2022年 181 件		2030年 360 件	34.4%
3	観光客数（万人/年） 【8.2,8.3,8.5,8.9】	2020年 3月 182 万人	2021年 117.8 万人	2022年 143 万人		2030年 230 万人	-81.3%
4	ICT・IoTなどの新技術の活用・導入件数 （累計）【9.b】	2020年 3月 63 件	2021年 118 件	2022年 160 件		2030年 320 件	37.7%
5	将来の夢や目標を持っている子どもの割合 （中学3年生）【1.2,1.4】	2020年 3月 47.1 %	2021年 38.8 %	2022年 41.0 %		2030年 61.8 %	-41.5%
6	地域福祉総合センター「福祉なんでも相談窓 口」の設置数（累計）【3.8】	2020年 3月 15 箇所	2021年 15 箇所	2022年 15 箇所		2030年 15 箇所	100.0%
7	全国学力・学習状況調査結果（全国を 100とした指標）【4.1,4.4,4.7】	2020年 3月 102.8 小学校	2021年 94.2 小学校	2022年 96.3 小学校		2030年 103.0 小学校	-3250.0%
7	全国学力・学習状況調査結果（全国を 100とした指標）【4.1,4.4,4.7】	2020年 3月 101.8 中学校	2021年 100.7 中学校	2022年 103.8 中学校		2030年 105.0 中学校	62.5%
8	女性活躍推進企業認証数（累計） 【5.1,5.2,5.5,5.b,5.c】	2020年 3月 132 社	2021年 189 社	2022年 202 社		2030年 400 社	26.1%
9	障害がある人にとって宇部市が暮らしやすいま ちだと思う人の割合【10.2】	2020年 3月 37.8 %	2021年 42.8 %	2022年 44.3 %		2030年 90.0 %	12.5%
10	中心市街地の休日1日当たりの通行者数 【11.2,11.3,11.a】	2020年 3月 11,011 人	2021年 6,647 人	2022年 6,911 人		2030年 16,700 人	-72.1%
11	地域計画に基づく新たな取組支援数（累 計）【11.2,11.3,11.a】	2020年 3月 41 件	2021年 98 件	2022年 122 件		2030年 138 件	83.5%
12	国際環境協力における研修生受入数（累 計）【6.5】	2020年 3月 725 人	2021年 1,238 人	2022年 1,399 人		2030年 1,020 人	228.5%
13	公共施設への太陽光発電設備導入箇所数 （累計）【7.2】	2020年 3月 42 箇所	2021年 44 箇所	2022年 44 箇所		2030年 50 箇所	25.0%
14	バイオマスを活用した事業創出件数（累 計）【9.4】	2020年 3月 6 件	2021年 7 件	2022年 7 件		2030年 16 件	10.0%
15	中心市街地の緑化・花壇等整備面積（累 計）【11.7】	2020年 3月 1,951 m ²	2021年 1,986 m ²	2022年 1,876 m ²		2030年 7,300 m ²	-1.4%
16	1人1日あたりのごみ排出量【12.5,13.3】	2020年 3月 994 g	2021年 963 g	2022年 959 g		2030年 800 g	18.0%
17	アクティビティおの（自然環境教育拠点施 設）で体験学習する人数（人/年） 【14.1,15.4】	2020年 3月 7,775 人/年	2021年 3,251 人/年	2022年 3,405 人/年		2030年 10,000 人/年	-196.4%

山口県宇部市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2021年～2023年）

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)
1	ICT/地域イノベーション、働き方改革の推進	事業化・創業実現件数(累計)	2020年3月 90件	2021年 135件	2022年 149件		2023年 190件	59.0%
2	ICT/地域イノベーション、働き方改革の推進	新規農業就業者数(累計)	2020年3月 42人	2021年 53人	2022年 54人		2023年 58人	75.0%
3	ICT/地域イノベーション、働き方改革の推進	多様な働き方確保支援センターにおける就職マッチング件数(累計)	2020年3月 87件	2021年 158件	2022年 181件		2023年 180件	101.1%
4	ICT/地域イノベーション、働き方改革の推進	ICT・IoT活用による社会的課題の解決件数(累計)	2020年3月 17件	2021年 25件	2022年 34件		2023年 39件	77.3%
5	ICT/地域イノベーション、働き方改革の推進	ICT・IoTなどの新技術の活用・導入件数(累計)	2020年3月 63件	2021年 118件	2022年 160件		2023年 158件	102.1%
6	観光産業の推進	観光客数(万人/年)	2020年3月 182万人/年	2021年 117.8万人/年	2022年 143万人/年		2023年 205万人/年	-169.6%
7	観光産業の推進	外国人観光客数(千人/年)	2020年3月 11千人/年	2021年 0.4千人/年	2022年 2.6千人/年		2023年 22.5千人/年	-73.0%
8	観光産業の推進	本市における観光客の旅行消費額(億円/年)	2020年3月 123億円/年	2021年 80億円/年	2022年 105億円/年		2023年 135億円/年	-150.0%
9	地域支えあい包括ケアシステムと連携したコンパクトシティの推進	地域福祉総合センターの設置数(累計)	2020年3月 15箇所	2021年 15箇所	2022年 15箇所		2023年 15箇所	100.0%
10	地域支えあい包括ケアシステムと連携したコンパクトシティの推進	ご近所ふれあいサロン箇所数(累計)	2020年3月 207箇所	2021年 222箇所	2022年 218箇所		2023年 220箇所	84.6%
11	地域支えあい包括ケアシステムと連携したコンパクトシティの推進	地域計画に基づく新たな取組支援数(累計)	2020年3月 41件	2021年 98件	2022年 122件		2023年 132件	89.0%
12	地域支えあい包括ケアシステムと連携したコンパクトシティの推進	地域内交通利用者数(人/年)	2020年3月 9,785人/年	2021年 10,128人/年	2022年 10,365人/年		2023年 13,100人/年	17.5%
13	持続可能な開発を学ぶための教育、学習機会の推進	課題の解決に向けて、自分で考え主体的に取り組もうとする児童生徒の割合	2020年3月 32.8 小学校	2021年 27.5 小学校	2022年 30.6 小学校		2023年 全国平均+4.0%以上	88.7%
13	持続可能な開発を学ぶための教育、学習機会の推進	課題の解決に向けて、自分で考え主体的に取り組もうとする児童生徒の割合	2020年3月 39.8 中学校	2021年 45.0 中学校	2022年 35.8 中学校		2023年 全国平均+4.0%以上	101.7%
14	持続可能な開発を学ぶための教育、学習機会の推進	中学校卒業段階で英検3級程度以上の英語力を身につけた生徒の割合	2020年3月 45.9%	2021年 43.3%	2022年 53.4%		2023年 51%	147.1%
15	持続可能な開発を学ぶための教育、学習機会の推進	環境教育プログラム実施校数(累計)	2020年3月 7校	2021年 13校	2022年 14校		2023年 16校	77.8%
16	若者・女性の活躍推進	高校生の市内就職割合	2020年3月 46.5%	2021年 42.4%	2022年 41.7%		2023年 54.0%	-64.0%
17	若者・女性の活躍推進	「まちづくり」イベント・行事の企画・運営に参画した市民(高校生以上30歳未満)の人数	2020年3月 176人	2021年 202人	2022年 121人		2023年 300人	-44.4%
18	若者・女性の活躍推進	女性活躍推進企業認証数(累計)	2020年3月 132社	2021年 189社	2022年 202社		2023年 230社	71.4%
19	若者・女性の活躍推進	女性職場環境改善件数(件/年)	2020年3月 9件/年	2021年 14件/年	2022年 17件/年		2023年 10件/年	800.0%

山口県宇部市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)
20	共生社会ホストタウンの推進	障害がある人にとって宇部市が暮らしやすいまちだと思ふ人の割合	2020年3月 37.8 %	2021年 42.8 %	2022年 44.3 %		2023年 84.0 %	14.1%
21	共生社会ホストタウンの推進	地域福祉総合センター「なんでも相談窓口」の設置数（累計）	2020年3月 15 箇所	2021年 15 箇所	2022年 15 箇所		2023年 15 箇所	100.0%
22	共生社会ホストタウンの推進	公共（学校施設は除く）・民間施設のバリアフリー化工事件数（件/年）	2020年3月 37 件/年	2021年 21 件/年	2022年 23 件/年		2023年 44 件/年	-200.0%
23	子どもの貧困対策、地域の見守り・支え合いの推進	将来の夢や目標を持っている子どもの割合（小学6年生）	2020年3月 67.0 %	2021年 60.7 %	2022年 65.8 %		2023年 80.0 %	-9.2%
24	子どもの貧困対策、地域の見守り・支え合いの推進	将来の夢や目標を持っている子どもの割合（中学3年生）	2020年3月 47.1 %	2021年 38.8 %	2022年 41.0 %		2023年 56.5 %	-64.9%
25	子どもの貧困対策、地域の見守り・支え合いの推進	ご近所ふれあいサロン箇所数（累計）	2020年3月 207 箇所	2021年 222 箇所	2022年 218 箇所		2023年 220 箇所	84.6%
26	ガーデンシティの推進	中心市街地の緑化・花壇等整備面積（累計）	2020年3月 1,951 m ²	2021年 1,986 m ²	2022年 1,876 m ²		2023年 2,300 m ²	-21.5%
27	ガーデンシティの推進	花・緑と調和した彫刻設置計画の進捗率	2020年3月 66.7 %	2021年 77.8 %	2022年 77.8 %		2023年 100 %	33.3%
28	地域エネルギー・バイオマス産業都市の推進	公共施設への太陽光発電設備の導入箇所数（累計）	2020年3月 42 箇所	2021年 44 箇所	2022年 44 箇所		2023年 47 箇所	40.0%
29	地域エネルギー・バイオマス産業都市の推進	エネルギー利用のスマート化実証事業数（累計）	2020年3月 3 件	2021年 4 件	2022年 4 件		2023年 7 件	25.0%
30	環境保全対策の推進	国際環境協力における研修生受入数（累計）	2020年3月 725 人	2021年 1,238 人	2022年 1,399 人		2023年 780 人	1225.5%
31	環境保全対策の推進	1人1日当たりのごみ排出量	2020年3月 994 g	2021年 963 g	2022年 959 g		2023年 840 g	22.7%
32	環境保全対策の推進	民生部門からの温室効果ガス排出量（千トン-CO2/年）	2020年3月 601 千トン	2021年 533 千トン	2022年 473 千トン		2023年 491 千トン	116.4%
33	環境保全対策の推進	汚水処理人口普及率	2020年3月 91.7 %	2021年 92.7 %	2022年 93.2 %		2023年 93.5 %	83.3%
34	環境保全対策の推進	新規農林業就業者数（累計）	2020年3月 42 人	2021年 53 人	2022年 54 人		2023年 58 人	75.0%

山口県宇部市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

(3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

- (1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況
- ・No.3：新型コロナウイルスの影響が長引き、相次ぐイベントや学会の中止により外からの人の動きが低迷していたが、今年度に入り少しずつ人が動き始め、全国的に観光客数は回復傾向にある。近隣の福岡、広島にはすでにインバウンドもコロナ前に戻りを見せているため、今後は、宇部市ならではの魅力を創出し、認知度を高めていくことが必要。
 - ・No.5：前年比としては増加しているものの、長引くコロナ禍による社会環境や社会情勢の変化により、子どもたちが将来に夢や目標を持ちづらくなっているものと推察される。今後は、将来の夢や目標を持つことができるよう、社会で自立するために必要な態度や能力を育み、意識の醸成を図るため地元企業・団体や専門家に触れる機会を確保していく。
 - ・No.7：全国学力・学習状況調査の結果、小・中ともに目標値を下回っているが、前年度より目標値に近づいた。令和4年度から学力向上推進協議会を設立し、宇部市の学力課題の解決に向けた「授業のスタートライン」の活用を進めていく。
 - ・No.9：「障害のある人への理解を深める機会が少ない」、「触れ合う場面を増やしてほしい」といった意見もあることから、さらに啓発を進めるとともに、理解を深めるための機会づくりを促進していく。
 - ・No.10：新型コロナウイルス感染症の影響や大規模小売店舗の閉店も減少の要因になっているが、2026年に常盤通りにぎわい交流拠点施設がオープン予定で、常盤通りのウォークアブル化により一帯が整備されるため、通行量は今後大きく増えていくと期待できる。
 - ・No.12：コロナ禍により、リモートによる海外研修に切り替えたことから、一度に多くの研修員の受け入れが可能となった。（2021年度「948人」→「1,238人」に訂正）
 - ・No.13：構造的に設置可能な公共施設への導入が概ね終了したことから、今後、新築の公共施設への導入を進める。
 - ・No.14：事業採算性が確保できない等の理由により、今後の事業化が進みにくい状況となっている。
 - ・No.15：新庁舎建設、真綿川周辺整備や常盤通りにぎわい交流拠点施設整備等の計画の遅れから緑化・花壇等の整備も進んでいない状況ではあるが、今後、常盤通りのウォークアブル化整備工事も始まり、中心市街地一帯の整備が進むことから、着実に増えていく見込みである。
 - ・No.16：本市のごみの総排出量は年々減少傾向であるものの、全国平均と比較すると高い水準にあり、目標値と乖離がある状況である。引き続き、市民・事業者・行政が一体となった3Rの推進によるごみの減量や意識啓発に取り組む。
 - ・No.17：コロナ禍もあり利用者全体として落ち込んでいたが、行事等の自粛も一段落したので、今後、鋭意学校・各種団体等に対し利用促進・啓発に取り組んでいく。
- (2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2021年～2023年）
- ・No.4：今後も、「ビジネスプランコンテスト」、「ときわ公園チャレンジ」、「チャレンジ！オープンガバナンス」等のICT・IoTを活用した社会的課題の解決に向けた取組を継続して実施していく。
 - ・No.6：(1)のNo.3に既出
 - ・No.7：新型コロナウイルスの影響が長引き、インバウンドも同様、前年比は上回っているが、当初の目標からはかなり低い結果となっている。今年度に入り少しずつ人が動き始め、近隣の福岡、広島にはすでにインバウンドもコロナ前に戻りを見せていることから、アニメ等を活用したキャンペーンをはじめ宇部市ならではの魅力を創出し、宇部市の認知度を高めていく。
 - ・No.8：新型コロナウイルスの影響が長引き、相次ぐイベントや学会の中止により外からの人の動きが低迷していたため、消費額についても前年比を上回っているが、コロナ前までは回復できていない。今年度に入り少しずつ人が動き始め、全国的に観光客数は回復傾向にあることから、アニメ等を活用したキャンペーンをはじめ宇部市ならではの魅力を創出・発信していくとともに、市内事業者と一体となって販売額向上等に取り組んでいく。
 - ・No.10：コロナ禍で休止していたサロンについて再開に向けて支援をしていたが、そのまま廃止となったサロンが多く目標を割った。今後は、サロンが少ない地域について、新たに立ち上げるよう支援を続けていく。
 - ・No.11：既に達成のため、2023年の目標値を「68」から「132」に修正したい。
 - ・No.12：コロナ禍で路線バスや鉄道などが大幅に落ち込むなか、目標数値とは乖離しているが、地域とともに取り組んだ結果、徐々に回復傾向にある。今後は、運転免許証を返納する方など新たな利用が見込める方への周知や、チラシ作成等の媒体を利用した発信に努めるなど、さらなる利用促進に取り組んでいく。
 - ・No.13：目標値を小学校が下回り、中学校は上回った（全国平均 小：30.5、中：31.2）。今後は、小中一貫教育を視点に、中学校区で「総合的な学習の時間」の目標を設定し、探究的な見方・考え方を働かせて学習することができるようにしていく。
 - ・No.14：生徒同士が英語を用いて対面でやり取りをする機会が増えたこともあり、当初値より上回った。今後は、オンライン英会話やALTの活用により、授業で生徒と教師または生徒同士の英語を用いたやり取りを増やすとともに、オンラインドリルやデジタル教科書を用いて家庭学習の充実を図ることにより、生徒の英語力を一層向上させていく。
 - ・No.16：市内企業の求人と高校生が働きたい仕事とのギャップが埋まらず、県内他市の企業に流出し、県内就職率は高い数値を維持している。今後は、市内企業に向けては「人手不足時代への対応方法」に関するセミナー等を開催するとともに、学生にとって魅力ある成長産業の創出に取り組んでいく。
 - ・No.17：2021年度は、「山口ゆめ回廊博覧会」という大規模イベントがあり市民（高校生以上30歳未満）の参画（100人）があったため全体で202人という実績だったが、2022年度については、そういったイベントがなかったため減少した。今後も、若者が地域づくりやまちづくりに参画しやすい機会を増やしていくとともに、その活動を支援していく。
 - ・No.20：(1)のNo.9に既出
 - ・No.22：民間施設の助成制度について、様々な媒体を活用し周知・啓発を更に進めていく。
 - ・No.23：(1)のNo.5と同じ
 - ・No.24：(1)のNo.5に既出
 - ・No.26：新庁舎建設、真綿川周辺整備や常盤通りにぎわい交流拠点施設整備等の計画の遅れから緑化・花壇等の整備も進んでいない状況ではあるが、今後、常盤通りのウォークアブル化整備工事も始まり、中心市街地一帯の整備が進むことから、着実に増えていく見込みである。
 - ・No.28：(1)のNo.13に既出
 - ・No.29：うべ未来エネルギー(株)における再生電源の取込検討など、実証を伴わないシミュレーションに切り替えたため、実件数としては増えない。
 - ・No.30：(1)のNo.12に既出
 - ・No.31：(1)のNo.16に既出
 - ・No.32：2022年3月の第三次宇部市環境基本計画の策定に伴い、温室効果ガス排出量の推計手法が変更されたことから、新たな推計手法により算出を行い、当初値、実績値、目標値を修正したい。
- ・当初値：438 → 601 ・2021年：379 → 533 ・2022年：473 ・2023年目標値：428 → 491